

## 第 15 期 第 1 回男女共同参画センター運営委員会 会議要録

- 1 日 時 平成 28 年 7 月 13 日（水） 午後 3 時～5 時
- 2 場 所 男女共同参画センターえーる 視聴覚室
- 3 出席者 山本委員長 加藤副委員長 西村副委員長 千田委員 小幡委員 加藤委員  
佐藤委員 高原委員 荒井委員 上原委員 大倉委員 中島委員 濱田委員  
平林委員 持木委員  
事務局（人権・男女共同参画課長 男女共同参画担当係長 同係職員）  
男女共同参画センター指定管理者  
欠席者 有馬委員 伊藤委員 居木委員
- 4 公開の可否 公開
- 5 傍聴者数 なし
- 6 議題 (1) 男女共同参画センターおよび運営委員会の活動内容について  
(2) 検討部会について
- 7 研修 男女共同参画研修 講師：武蔵大学社会学部教授 千田有紀委員
- 8 その他 (1) 次回日程について  
(2) その他
- 9 配布資料  
資料 1 第 15 期運営委員会委員名簿  
資料 2 平成 28 年度人権・男女共同参画課および男女共同参画センター指定管理者職員体制  
資料 3 練馬区立男女共同参画センター条例  
資料 4 練馬区立男女共同参画センター運営委員会設置要綱  
資料 5 平成 28 年度男女共同参画センター運営委員会等スケジュール  
資料 6 検討部会について（案）  
資料 7 研修資料「これからの日本社会の行方～ジェンダー・家族から考える～」  
参考資料 第 4 次練馬区男女共同参画計画  
男女共同参画センター事業概要（平成 26 年度事業実績）  
えーるだより第 52 号  
すてっぷ第 62 号  
MOVE40 号  
事業チラシ

### 10 会議の概要

【人権・男女共同参画課長挨拶】（省略）

【委員自己紹介、事務局・指定管理者紹介】（省略）

【会議録の公開について】

<事務局>

会議録の公開に関してご了解いただきたい事項がある。運営委員会の内容は後日、各委員の了解を得た後に、区のホームページに掲載する。したがって、本会議の内容を録音させていただいていることを、ご了承ください。

【委員長・副委員長の選出】

（委員互選の結果、運営委員長は山本委員、副委員長は加藤委員・西村委員に決定した。）

<委員長> (挨拶)

<副委員長> (挨拶)

<副委員長> (挨拶)

【議題】

<委員長> まず、(1) 男女共同参画センターおよび運営委員会の活動内容について、事務局から

説明をお願いする。

<事務局> 練馬区立男女共同参画センター条例（資料3）、練馬区立男女共同参画センター運営委員会設置要綱（資料4）については、募集時に送付しているため再確認で概要を説明（説明省略）。主に、平成28年度男女共同参画センター運営委員会等スケジュール（資料5）について説明（説明省略）。

<指定管理者> 平成28年度男女共同参画センター事業年間計画（資料5別紙）について、説明（説明省略）。

<委員長> 何か質問等はあるか。補足だが、資料5別紙の一番右側の欄には、各事業が第4次練馬区男女共同参画計画（以下、第4次計画）の目標Ⅰ～Ⅴのどの目標と関連するのかわかを示してある。

<指定管理者> 第4次計画の6ページから9ページの体系図から、記載しているのでご確認いただきたい。

<事務局> 事務局と指定管理者が説明した資料5・資料5別紙に、10月の第2回運営委員会で「平成29年度講座事業について」「平成29年度区民企画講座について」が案件に入っているが、資料5別紙については平成27年10月の14期の運営委員会でお諮りし、意見をいただき、決定したものである。15期の委員には、10月の運営委員会において、平成29年度男女共同参画センター事業年間計画についてお諮りし、意見を出していただく予定である。その中に区民の方から企画をいただいた講座を運営委員会の中で選ぶ「区民企画講座」というものがある。「区民企画講座」についても、同じく10月の運営委員会でご意見をいただく予定である。

委員長より補足のあった第4次計画との関連だが、第4次計画には5つの目標があり、資料5別紙のⅠ・Ⅱ等のローマ数字が目標、1・2等のアラビア数字がそれぞれの目標内の施策を示している。一つ一つの事業が計画の中のどの目標に基いているかということが分かるようになっていて、そのように見ていただきたい。その中でご質問や不明な点があれば、事務局や男女共同参画センター職員に聞いていただきたい。

<委員長> 何か質問等はあるか（質問なし）。続いて、(2)検討部会について、事務局より説明をお願いする。

<事務局> 検討部会について（案）（資料6）について説明（説明省略）。

<委員長> 補足すると、運営委員会の中では議論がまとまりにくく、詳細な検討ができないため、部会を作ったという経緯がある。今まで3つの部会があったが、今期は2つの部会にするという事務局の案である。皆さんの率直な意見をいただいたうえで、検討していきたい。ご意見・ご質問のある方はいるか。

<委員> それぞれの活動内容について教えていただきたい。広報・PR活動部会については、今期から必要がないのか、2つの部会の中に活動内容を含めるのか、教えていただきたい。

<事務局> 14期の図書・資料室検討部会については、えーる図書・資料室の広報・周知として、運営委員会終了後に集まっていただき、えーる図書・資料室の本を紹介するパネルを作成し、えーるの1階から2階の間の階段の踊り場に掲示した。広報・PR活動部会については、えーるの広報を指定管理者に工夫してもらっていること、また必要に応じて運営委員会の中でご意見を伺っているため、設置は不要ではないかと考えている。

<事務局> 図書・資料室検討部会についてだが、えーる図書・資料室では男女共同参画に特化した書籍や資料を取り揃えており、また毎月新しい書籍を購入していることから、できるだけ区民の皆さんにお知らせした方がよいのではないかという意見が、13期運営委員会の中の委員の意見として出たため設置したものと聞いている。14期運営委員会においても、活動を続けたいとの意見があったため、そのまま継続していただいた。

広報・PR活動部会については、昨年、東京ウィメンズプラザの見学後、報告をいた

だいたいが、指定管理者によるえーる館内での PR やホームページにおける広報、また区でも広報を行っているため、周知ができていると感じている。よって、部会という形をとるのではなく、何かあった際は運営委員会の中で話していただいても良いのではないかと考えているため、今回の部会の案として挙げていない。皆さんから部会の負担があるという声もあったため、その点についても考慮したが、ご意見を伺ったうえで、検討させていただきたい。

区民企画講座については、申込みのあった多くの講座について、委員全員で話を詳細に詰めていくのは難しいという面があるが、運営委員の皆さんの意見をお聞きしながらより良い講座になるよう反映させていくものである。よって、部会としてあった方が会の進行がスムーズにいくのではないかと考えている。

<委員長>

ほかに質問はあるか。

<委員>

区民企画講座は 10 名程度だが、1 年で 5 人というのは意見として十分なのか。もっと幅広く意見を集めた方が良いのではないか。

<事務局>

区民企画講座は、区報で募集すると多くの応募がある。最初に部会内である程度の下調べをしていただいたうえで、運営委員会の中で全員の意見を伺うため、下調べの段階で色々と応募されたものを見て準備いただき、運営委員会に備えていただくような役割のある部会であるため、(1 年で) 5 人とした。

<委員長>

ほかに質問等はあるか。

<委員>

(図書・資料室検討部会) 8 名と(区民企画講座検討部会) 10 名が 1 年ごとに交代するのは不可能なのでは。

<事務局>

8 名所属していただいた中で、活動は 1 年間に 4 人とする案を出した。1 年目に 4 人活動し、2 年目は、1 年目に活動していなかった 4 人の方が活動していただくという案である。8 名全員で活動した方が良いという場合はそれでも構わない。2 年間部会活動をするという負担を考えた中での提案であるので、皆さんの活動しやすい方法を検討いただければと思う。

<委員長>

ほかに質問等はあるか。

<委員>

部会には 2 年所属するが、活動は 1 年交代という案の解釈でよいか。

<事務局>

解釈のとおりである。

<委員長>

ほかに質問等はあるか。

<委員>

図書・資料室検討部会に所属していたが、リーダーシップをとって進めてくれた委員がいた。自分自身、最初は進め方が分からなかったが、教わりながら、2 年間活動し、進め方がやっと身に付いた。よって、前回のメンバーが残留すれば(前期委員が継続して所属して 1 年ずつ担当し、新しいメンバーを 3 人迎える場合)、新しい人に教えながらできると思うが、新しい方達のみで進めていくのは難しいと思う。

<委員>

事務局からの案の段階なので、各部会に所属が決まった 8 名および 10 名の中で、話し合っって活動するのはどうか。都合が悪く欠席する場合もあるし、どのように活動するか等は各部会の中で考えていけばよいのではないか。

<委員長>

ほかに意見・質問等はあるか(意見・質問等なし)。では、ご意見を踏まえ、まとめに入るが、事務局案でいくか、またはそれ以外の方法をとるかを決めていきたい。1 年交代ではなく、2 年間通して活動した方がよいと思う方は(全員挙手)。では、事務局案ではなく、皆さんの意見を踏まえ、2 年間通して活動することとする。

人数については、私自身も妥当な割振だと考えているが、事務局の提案通りでよろしいか(異議なし)。また、広報 PR 部会は廃止案が出ているが、復活させた方がよいという意見の方はいるか(異議なし)。では、事務局の提案通りとさせていただく。

<委員>

広報 PR 部会については自分が部長を行っていた。2 年前はそれほど広報が盛んではなかったため、私どもで提案したが、現在では練馬区全体で広報を盛んに行ってくれて

いる。この2年間を通し、えーる職員が自主的にえーる館内に写真を飾ったり、講座案内やえーるフェスティバルのことをPRしたりと自主的に進めてくださったり、また、図書・資料室の新刊案内なども充実しているため、廃止しても問題ないと思っている。

<委員長> ほかに意見・質問等はあるか（意見・質問等なし）。では、部会については2つの部会で2年間を通して活動することとする。では後程、部会および部会長決めを行う。  
続いて、千田委員から研修をお願いする。

**【研修】**

（男女共同参画研修として、千田委員より「これからの日本社会の行方～ジェンダー・家族から考える～」(資料7)の講義をいただく)

<委員長> 千田委員よりわかりやすい講義をいただいた。続いて、部会希望記入用紙に希望を記入いただき、事務局へ提出をお願いする。その間に次回の日程を決めたい。

— 日程調整（省略） —

<委員長> それでは、今回は 10月19日（水）午前10時から開催させていただく。なお、部会の集計結果だが、図書・資料検討部会が2名、その他が講座企画検討部会という結果であるため、欠席者の意向も踏まえ、事務局で検討させていただいた後、改めて結果の報告をさせていただくこととする。

<副委員長> （閉会の挨拶）